第２期厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略
効果検証報告書
（対象年度　令和７年度）

令和８年10月

厚木市

目　次

１　第２期厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要　・・・・・・・・・１

(1) 策定の目的　・・・・・・・・・２

(2) 第２期総合戦略の基本方針　・・・・・・・・・２

(3) 展望　・・・・・・・・・３

(4) 四つの基本目標　・・・・・・・・・３

(5) 重要な視点　・・・・・・・・・３

(6) 八つの数値目標　・・・・・・・・・４

(7) 基本目標・施策の体系　・・・・・・・・・６

２　第２期総合戦略の効果検証について　・・・・・・・・・９

(1) 目的　・・・・・・・・・10

(2) 対象年度　・・・・・・・・・10

(3) 効果検証の方法　・・・・・・・・・10

(4) 効果検証結果の活用　・・・・・・・・・10

３　第２期総合戦略効果検証結果（総論）　・・・・・・・・・11

【総合評価】　・・・・・・・・・12

【厚木市総合計画審議会からの意見】　・・・・・・・・・13

４　基本目標ごとの評価　・・・・・・・・・15

基本目標１（転入促進）　・・・・・・・・・15

基本目標２（雇用創出）　・・・・・・・・・21

基本目標３（合計特殊出生率上昇）　・・・・・・・・・27

基本目標４（転出抑制）　・・・・・・・・・33

（別冊）　主な取組　令和７年度の実績

１　第２期厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

１　第２期厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

(1) 策定の目的

我が国は、平成20(2008)年から既に人口減少時代に突入し、地域社会の維持や人口減少の克服という課題に直面しています。このような状況の中、平成26(2014)年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、同年12月には、人口の現状と将来の展望を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン(以下「国の長期ビジョン」という。)」及び国の５か年の政策目標・施策の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「国の第１期総合戦略」という。)」が閣議決定されました。

これを受けて、地方公共団体においては、国の長期ビジョン及び国の第１期総合戦略を勘案して、地方公共団体における人口の現状と将来の展望を提示する「地方人口ビジョン」及び地域の実情に応じた「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に努めることとなりました。

このような国の取組を踏まえ、厚木市では、平成28(2016)年３月に厚木市における人口の現状を分析し、人口の将来展望と目指すべき将来の方向を示した「厚木市人口ビジョン(以下「人口ビジョン」という。)」を策定するとともに、厚木市の実情に応じた、人口減少を克服するための施策を位置付ける「厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「第１期総合戦略」という。)」を策定し、合計特殊出生率の上昇、定住促進及び雇用の創出に向けた取組を推進してきました。

その後、国においては、令和元(2019)年度に新たな「国の長期ビジョン」及び「第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「国の第２期総合戦略」という。)」を示し、新たな取組を推進してきました。

厚木市においては、第１期総合戦略の対象期間が令和２(2020)年度をもって終了となり、厚木市の実情に合わせた地方創生に向けた取組を引き続き推進するため、最新のデータに基づき、人口の将来展望等を見直すために、人口ビジョンを改定するとともに、令和３(2021)年度を始期とする第２期厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「第２期総合戦略」という。)を策定しました。

今般、国では、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指すため、デジタル技術 の活用によって、地域の個性をいかしながら地方の社会課題解決や魅力向上を図る「デジタル田園都市国家構想」の実現を図るため、国の第２期総合戦略を抜本的に改定し、令和５年度を初年度とする５か年の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を令和４（2022）年12月に閣議決定しました。

これらを受け、これまで第１期総合戦略及び第２期総合戦略で進めてきた地方創生の取組を、より一層デジタルの力を活用しながら継承・発展させていくため、第２期総合戦略を改定しました。

(2) 第２期総合戦略の基本方針

市民、事業者、議会及び行政が、人口減少に対する危機感及び問題意識を共有し、人口の将来展望の実現に向け「合計特殊出生率の上昇」、「定住促進」及び「雇用の創出」に市民協働で取り組み、将来にわたって活力ある地域社会の維持・発展を目指す。

(3) 展望

多くの企業や大学が集積している本市は、通勤通学者が多く、昼夜間人口比率が全国でも高い水準となっている。また、都心や横浜へアクセスしやすい鉄道路線、複数の高速道路・インターチェンジによる広域的な道路網が整備されるなど、交通利便性が高く、多くの人が集まりやすい環境となっている。

このような本市の特性をいかし、第２期総合戦略の下、人口の将来展望の実現に向けて地方創生の取組を着実に推進してきたが、少子高齢化の状況は依然として続いている。また、昨今のコロナ禍のような、これまでの日常生活が変化する事態への対応も求められている。

このように、取り組むべき課題が多岐にわたる中、市民の幸せと確かな暮らしを実現させるためには、合計特殊出生率の上昇、定住促進及び雇用の創出といったこれまでの取組を深化・発展させる必要がある。将来にわたって活力ある地域社会の維持・発展を目指し、市の総力を挙げて取組を推進する。

推進に当たっては、「職・住・育が調和したまちづくり」の姿勢を基本とする。すなわち、職場や住居、育児環境を個人のライフスタイルに合わせて柔軟に選択することができ、仕事と子育てを両立しながら、家族と過ごす時間や余暇などが充実するまちをつくり上げていく取組こそ、全国から憧れを抱かれ、市民一人一人が誇りを持ち、住みたい・住み続けたいと思える「魅力あふれる厚木づくり」であると考える。

人口の将来展望の実現に向け、引き続き、令和８（2026）年度までの基本目標を「地域の魅力発信・人材交流と都市機能の向上により、活気に満ちたまちをつくる」「働く場を創出し、経済活動が盛んなまちをつくる」「結婚・出産・子育ての希望をかなえることができるまちをつくる」「誰もが安心して自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる」とし、施策を展開していく。

(4) 四つの基本目標

第１期総合戦略の効果検証等で明らかとなった本市の課題や特徴等を踏まえ、次の四つの基本目標を設定し、人口の将来展望の実現に向けた施策に取り組みます。

また、政策効果を客観的な指標により検証・改善を行うため、施策ごとに重要業績評価指標（以下「ＫＰＩ」という。）を設定しています。

基本目標１ 【転入促進】	地域の魅力発信・人材交流と都市機能の向上により、活気に満ちたまちをつくる
基本目標２ 【雇用創出】	働く場を創出し、経済活動が盛んなまちをつくる
基本目標３ 【合計特殊出生率上昇】	結婚・出産・子育ての希望をかなえることができるまちをつくる
基本目標４ 【転出抑制】	誰もが安心して自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる

(5) 重要な視点

四つの基本目標を施策横断的に推進するため、次の四つを重要な視点として位置付け取り組みます。

○ ＳＤＧｓの理念や目標達成に向けた施策の展開
○ デジタル技術を活用した地域課題の解決
○ 誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会の実現
○ 施策間連携・地域間連携による効果的な施策の推進

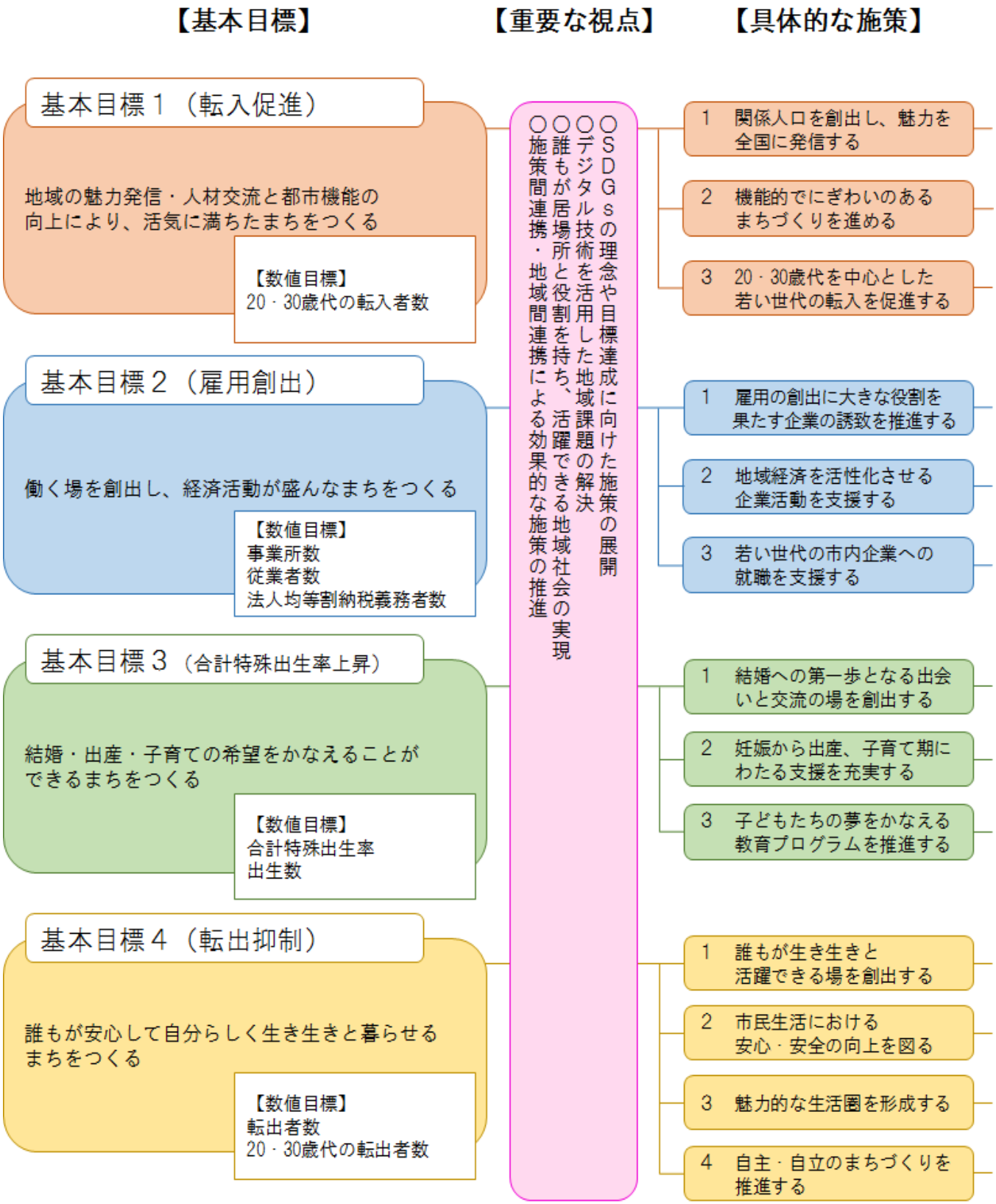
(6) 八つの数値目標

第２期総合戦略の対象期間の最終年度となる令和８（2026）年度の数値目標を、基本目標ごとに次のとおり定めています。

基本目標		数値目標				
1	転入促進	1	20・30歳代の転入者数	6,439人 令和元（2019）年	→	6,500人 令和８（2026）年
2	雇用創出	2	事業所数	11,758事業所 令和元（2019）年	→	12,520事業所 令和８（2026）年
		3	従業者数	147,906人 平成28（2016）年	→	168,650人 令和８（2026）年
		4	法人均等割納税義務者数	7,310事業所 令和元（2019）年	→	7,790事業所 令和８（2026）年
3	合計特殊出生率上昇	5	合計特殊出生率	1.25 平成30（2018）年	→	1.44 令和８（2026）年
		6	出生数	1,453人 令和元（2019）年	→	1,650人 令和８（2026）年
4	転出抑制	7	転出者数	10,580人 令和元（2019）年	→	10,500人 令和８（2026）年
		8	20・30歳代の転出者数	6,680人 令和元（2019）年	→	6,620人 令和８（2026）年

（7）基本目標・施策の体系

四つの基本目標の達成に向け、八つの数値目標を設定し、具体的な施策に取り組みます。



【主な取組】

- ①都市間連携の強化
- ②観光地の魅力創出
- ③あつぎの魅力の発信力強化
- ①都市機能の向上
- ②商業の活性化
- ①転入を促進する支援の充実
- ①新たな産業拠点の創出
- ②企業誘致の推進
- ①中小企業の経営支援
- ①市内企業への就職支援の充実
- ①出会いの場や交流の場の創出
- ①妊娠・出産への支援の充実
- ②子育て世帯への支援の充実
- ③子育て環境の充実
- ①魅力ある教育環境の充実
- ②デジタル技術を活用した教育の推進
- ①市民の健康保持増進
- ②学ぶ場と活躍の場の創出
- ③市民協働の更なる推進
- ①防災・減災対策の充実・強化
- ②安心・安全な環境の整備
- ①快適な生活環境の創出
- ②利便性の高い交通環境の充実
- ③憩いや安らぎの場の創出
- ④デジタル技術の活用による生活利便性の向上
- ①積極的な財源の確保
- ②庁内組織体制の最適化と人材育成
- ③公共施設の適正配置の推進

２　第２期総合戦略の効果検証について

２　第２期総合戦略の効果検証について

(1) 目的

ア　第２期総合戦略の進行管理

第２期総合戦略の数値目標を達成するためには、実施した施策・事業の検証と改善を図る必要があります(計画策定(Ｐｌａｎ)、推進(Ｄｏ)、評価(Ｃｈｅｃｋ)、改善(Ａｃｔｉｏｎ)のＰＤＣＡサイクルの確立)。

そこで、評価に当たっては、施策ごとにKPIを設定し、政策効果を客観的な指標により検証し、必要な改善を行います。

イ　市民に対する説明責任

第２期総合戦略の進捗状況や今後の方向性を公表し、市民の皆様と共有を図ることにより、市民と行政が一体となり、第２期総合戦略の取組を推進します。

(2) 対象年度

令和７（2025）年度

(3) 効果検証の方法

ア　次の事項について、目標値に対する実績値を比較し、数値による進捗状況を明確にします。なお、ＫＰＩに位置付ける市民実感度については、各年度に実施した調査結果(当該年度の施策に対する実感度)を実績値としています。

(ｱ) 四つの基本目標に位置付ける八つの数値目標

(ｲ) 各基本目標に位置付けるＫＰＩ

イ　評価の目安は、目標値に対する達成率に応じて次の区分のとおりとします。

達成率	評価
100%以上	順調
80%以上100%未満	おおむね順調
60%以上80%未満	やや遅れ
60%未満	遅れ

ウ　効果検証は、客観性を担保するため、附属機関である、市民や学識経験者、関係団体の代表等で構成する「厚木市総合計画審議会」から意見をいただきながら行います。

(4) 効果検証結果の活用

効果検証結果については、今後の厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略の着実な推進を行うために活用するとともに、「効果検証報告書」としてまとめ、公表します。

３　第２期総合戦略効果検証結果（総論）

３　第２期総合戦略効果検証結果（総論）

【総合評価】

令和８年度の効果検証では、人口の将来展望の実現に向けた四つの基本目標に位置付ける８項目の数値目標のうち、未公表等により実績値を確認できない３項目を除く４項目が達成率100.0%、１項目が70.0%を下回った。全ＫＰＩの達成率平均は87.3%であり、全体として「おおむね順調」に進捗しているものの、基本目標ごとに課題があり、更なる取組の推進が求められる。

基本目標１は、数値目標の達成率が令和４年以降100.0%を維持する一方、令和７年度の実績値は前年度を下回った。20・30歳代の転入は本市の人口を支える基盤である。転入の動機となる、中心市街地の活性化や都市機能の向上などにより、住みたいと思える魅力あるまちづくりに引き続き取り組む必要がある。

基本目標２は、数値目標「法人均等割納税義務者数」が順調に推移する一方、ＫＰＩの達成率平均は２年連続で低下し、「やや遅れ」となった。経済基盤を支える産業の成長は、市民生活の豊かさの基礎である。企業の誘致や就労支援に積極的に取り組み、地域経済の活性化により発展し続けるまちづくりを進める必要がある。

基本目標３は、数値目標「出生数」の達成率が年々低下し、ＫＰＩの達成状況との開きが拡大している。施策は着実に実施されている一方、成果が出生数の増加に十分結び付いていない。妊娠から出産、こどもの成長過程における切れ目のない支援を継続し、要因分析を踏まえた効果的な取組により、こどもたちが幸せに暮らし続けられるまちをつくる必要がある。

基本目標４は、二つの数値目標がいずれも達成率100.0%となったが、転出者数全体が減少する中で20・30歳代は増加が続き、転出の若い世代への偏りが強まっている。若い世代の流出は、地域の担い手不足を招き、出生数にも影響する。犯罪を起こさせない環境づくりや地域で支え合う関係づくりなどを進め、住み続けたいと思えるまちを目指す必要がある。

令和７年度は、第２期総合戦略の最終年度となった。計画期間を通じ、転入促進や転出抑制に係る数値目標はおおむね達成された一方、出生数や合計特殊出生率は目標を下回って推移し、自然増の課題が残された。第２期総合戦略が担ってきた人口の将来展望の実現に向けた取組は、令和８年度を始期とする第11次総合計画において、「住みたい」「育てたい」「働きたい」をキーワードとする三つの戦略による重点プロジェクトに引き継がれる。これらの成果と課題を各戦略の重点テーマに的確に反映し、引き続き、分野横断的に取組を進めていくことが求められる。

【厚木市総合計画審議会からの意見】

令和７年度の施策・事業については、数値目標及びＫＰＩの達成状況から、全体としては「おおむね順調」に進捗しているものと評価する。一方で、ＫＰＩの達成状況が良好であるにもかかわらず、出生数や雇用の創出といった最終的な成果との間に乖離が見られる。指標、事業費及び実績等のデータを突き合わせ、どの取組が成果に結び付いたのかを分析し、施策の改善につなげられたい。

また、指標の達成状況が良好であることが、そのまま市民の実感につながっているとは限らない。取組の成果をデータにより見える化し、市民に伝わる形で発信するとともに、アンケート調査に基づく指標については、回答の傾向を分析し、目標値の設定が適切であるかについても、都度検証されたい。なお、天候等の外的要因により実績が大きく左右される取組も見られることから、外的要因に影響されにくい実施方法及び指標の設定について検討されたい。

人手不足や物価高騰といった構造的な課題への対応に当たっては、国、県及び近隣市町村との連携による広域的な施策展開も視野に入れ、令和８年度を始期とする第11次総合計画と一体的に、市民の関心と共感を得ながら施策を推進されたい。

４　基本目標ごとの評価

基本目標１（転入促進）

基本目標１	地域の魅力発信・人材交流と都市機能の向上により、活気に満ちたまちをつくる
施策の方向性	あつぎの魅力を全国へ発信し、機能的でにぎわいのあるまちづくりを推進するとともに、20・30歳代を中心とした若い世代の転入・定住促進に関する支援の充実を図ります。

【数値目標の進捗状況】

数値目標	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
20・30歳代の転入者数	6,439人（令和元年）	目標値	6,455	6,463	6,471	6,479	6,487	6,500
		実績値	6,149	6,765	6,803	6,935	6,811	
		達成率	95.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

【基本目標１の進捗状況及び評価】

重要業績評価指標（ＫＰＩ）の達成率平均	89.4%	評価	おおむね順調

数値目標「20・30歳代の転入者数」については、達成率は令和４年以降100.0%を維持しているが、実績値は前年度から124人減少した。増加基調が転じた可能性もあり、動向を注視する必要がある。
ＫＰＩの達成率平均は91.4%と、おおむね順調に進捗しているが、ＫＰＩ「本市の魅力が市内外に発信されていると思う市民の割合」は低い水準にとどまっており、発信の効果を検証し、魅力発信体制の強化を図る必要がある。
ＫＰＩ「保育士、幼稚園教諭、看護職、介護職等転入奨励助成事業による転入者数（累計）」については、達成率が57.9%であるため、制度が転入の動機付けとして機能しているかを検証する必要がある。

【厚木市総合計画審議会からの意見】

数値目標「20・30歳代の転入者数」について、令和４年度以降、達成率100.0%を維持している点は高く評価する。子育て支援や防災対策をはじめとする本市の様々な取組が転入の後押しとなっていることから、これらの魅力をより積極的に発信されたい。
ＫＰＩ「本市の魅力が市内外に発信されていると思う市民の割合」について、伸び悩みが見られる。伝えたい相手に届く媒体の選択など発信戦略を検証するとともに、市民自身が発信者となる気運の醸成や、県央やまなみ地域の広域連携をいかした観光振興に取り組まれたい。
ＫＰＩの中には、「保育士、幼稚園教諭、看護職、介護職等転入奨励助成事業による転入者数」のように達成率が低い水準にとどまるものや、「国内・海外友好都市との交流活動件数」のように国際情勢等の外的要因により実績が左右されるものも見られる。事業の実施手法や指標の在り方について、引き続き必要に応じた検証を行われたい。

【重要業績指標（ＫＰＩ）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	1　関係人口を創出し、魅力を全国に発信する							
主な取組	①　都市間連携の強化							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
国内友好都市との交流活動件数	22件 （令和元年度）	目標値	25	26	27	指標変更		
		実績値	7	19	20			
		達成率	28.0%	73.1%	74.1%			
海外友好都市等との交流活動件数	15件 （令和元年度）	目標値	22	24	25	指標変更		
		実績値	2	13	16			
		達成率	9.1%	54.2%	64.0%			
国内・海外友好都市との交流活動件数	37件 （令和元年度）	目標値	－	－	－	55	57	59
		実績値	－	－	－	47	53	
		達成率	－	－	－	85.5%	92.9%	
県央やまなみ地域（厚木市、秦野市、伊勢原市、愛川町、清川村）の観光客数	11,837,000人 （令和４年度）	目標値	－	－	－	12,300,000	12,700,000	13,000,000
		実績値	－	－	－	12,609,000	12,946,000	
		達成率	－	－	－	100.0% (102.5%)	100.0% (101.9%)	

具体的な施策	1　関係人口を創出し、魅力を全国に発信する							
主な取組	②　観光地の魅力創出							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
年間観光客数	2,942,000人 （令和元年度）	目標値	3,035,000	3,128,000	3,221,000	3,543,000	3,897,000	4,287,000
		実績値	1,081,007	2,487,409	2,096,170	2,458,965	2,313,076	
		達成率	35.6%	79.5%	65.1%	69.4%	59.3%	
温泉、ハイキングコース、イベントなど、観光資源の活性化が図られていると思う市民の割合	42.6% （令和２年度）	目標値	43.0	44.0	45.5	47.0	48.5	50.0
		実績値	43.6	42.2	46.1	44.2	44.7	
		達成率	100.0% (101.4%)	95.9%	100.0% (101.3%)	94.0%	92.1%	

【重要業績指標（ＫＰＩ）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	１　関係人口を創出し、魅力を全国に発信する							
主な取組	③　あつぎの魅力の発信力強化							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
あつぎの魅力創造・交流事業において、「あつぎの魅力を感じることができた」と思う事業参加者の割合	87.8% （令和元年度）	目標値	90.0	90.0	90.0	100.0	100.0	100.0
		実績値	88.4	98.4	72.1	100.0	100.0	
		達成率	98.2%	100.0% (109.3%)	80.1%	100.0%	100.0%	
本市の魅力が市内外に発信されていると思う市民の割合	42.2% （令和２年度）	目標値	43.5	44.8	46.1	47.4	48.7	50.0
		実績値	44.8	38.5	39.5	37.4	40.5	
		達成率	100.0% (103.0%)	85.9%	85.7%	78.9%	83.1%	
公式ＳＮＳ利用登録者数	73,000人 （令和５年度）	目標値	－	－	－	88,000	95,000	102,000
		実績値	－	－	－	83,652	94,964	
		達成率	－	－	－	95.1%	99.9%	

【重要業績指標（ＫＰＩ）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	2　機能的でにぎわいのあるまちづくりを進める							
主な取組	①　都市機能の向上							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
中心市街地の歩行者数	109,836人 （令和元年度）	目標値	110,000	110,500	111,000	111,500	112,000	112,500
		実績値	98,282	94,327	100,327	104,701	98,066	
		達成率	89.3%	85.4%	90.4%	93.9%	87.6%	

具体的な施策	2　機能的でにぎわいのあるまちづくりを進める							
主な取組	②　商業の活性化							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
中心市街地商店街空店舗対策事業補助金交付申請店舗数	８件 （令和２年度）	目標値	8	8	8	8	8	8
		実績値	18	12	13	10	16	
		達成率	100.0% (225.0%)	100.0% (150.0%)	100.0% (162.5%)	100.0% (125.0%)	100.0% (200.0%)	
子育てパスポートＡＹＵＣＯカード取得率	74.0% （令和２年度）	目標値	78.0					
		実績値	85.2					
		達成率	100.0% (109.2%)					
子育てパスポートＡＹＵＣＯカード取得者数	10,178人 （令和４年度）	目標値	―	10,000	11,000	12,000	13,000	14,000
		実績値	―	10,178	11,428	12,805	14,108	
		達成率	―	100.0% (101.8%)	100.0% (103.9%)	100.0% (106.7%)	100.0% (108.5%)	

指標変更

【重要業績指標（ＫＰＩ）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	3　20・30歳代を中心とした若い世代の転入を促進する							
主な取組	①　転入を促進する支援の充実							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
住宅取得等支援事業による転入者数（累計）	101人 （令和元年度）	目標値	220	440	660	980	1,300	1,620
		実績値	275	563	903	1,264	1,640	
		達成率	100.0% (125.0%)	100.0% (128.0%)	100.0% (136.8%)	100.0% (129.0%)	100.0% (126.2%)	
保育士、幼稚園教諭、看護職、介護職等転入奨励助成事業による転入者数（累計）	75人 （令和元年度）	目標値	124	260	409	575	744	915
		実績値	83	171	257	332	431	
		達成率	66.9%	65.8%	62.8%	57.7%	57.9%	

基本目標２（雇用創出）

基本目標２	働く場を創出し、経済活動が盛んなまちをつくる
施策の方向性	新たな産業拠点の創出や企業の誘致を推進するとともに、中小企業等の更なる成長を促進するための施策を推進します。また、若い世代が安定して市内で働けるよう、市内企業への就職支援の充実を図ります。

【数値目標の進捗状況】

数値目標	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
事業所数	11,758事業所（令和元年度）	目標値	11,971	12,079	12,187	12,297	12,408	12,520
		実績値	－	－	－	9,870	－	
		達成率	－	－	－	80.3%	－	
従業者数	147,906人（平成28年度）	目標値	158,586	160,648	162,649	164,649	166,649	168,650
		実績値	151,282	－	－	－	－	
		達成率	95.4%	－	－	－	－	
法人均等割納税義務者数	7,310事業所（令和元年度）	目標値	7,443	7,510	7,578	7,646	7,715	7,790
		実績値	7,557	7,709	7,766	7,910	8,001	
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

【基本目標２の進捗状況及び評価】

重要業績評価指標（ＫＰＩ）の達成率平均	74.4%	評価	やや遅れ

数値目標「事業所数」及び「従業者数」については、５年ごとの経済センサスにより把握するため、令和７年度は実績値なし。
数値目標「法人均等割納税義務者数」は達成率100.0%を維持し、法人数は着実に増加している。ただし、「事業所数」は令和６年度の達成率が80.3%であり、市内企業の更なる成長と新たな事業の創出を後押しする必要がある。
ＫＰＩの達成率平均は74.4%となり、前年度から7.4ポイント低下して「やや遅れ」となった。ＫＰＩ「企業誘致・立地による雇用者創出数」の達成率が10.0%と低いが、着工遅延など単年度の特殊要因も影響しているため、中長期的な視点から効果を捉え、雇用の創出に結び付ける必要がある。

【厚木市総合計画審議会からの意見】

数値目標「法人均等割納税義務者数」について、毎年度、達成率100.0%を維持していることは高く評価できる。一方、「事業所数」は令和６年度の達成率が80.3%であったことから、引き続き、新たな産業用地の創出や企業の誘致、既存企業の支援に取り組まれたい。
ＫＰＩの達成率平均が74.4%と「やや遅れ」となった要因は、ＫＰＩ「企業誘致・立地による雇用者創出数」の達成率が著しく低いことにある。産業用地の創出や企業への働き掛け、関係機関との連携など、様々な手法を用いて企業誘致を推進するとともに、そこで働く人の市内定住を促す支援策と一体的に展開されたい。
ＫＰＩ「奨学金返済助成件数」について、市内企業への就職支援と就職後の定着の双方に資する取組であることから、創業支援や新たな産業拠点の整備と併せ、今後も着実に推進されたい。

【重要業績指標（ＫＰＩ）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	１　雇用の創出に大きな役割を果たす企業の誘致を推進する							
主な取組	①　新たな産業拠点の創出							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
森の里東及び酒井土地区画整理事業用地における立地企業数（累計）	３社（令和２年度）	目標値	5	5	10	13	16	20
		実績値	5	7	9	11	12	
		達成率	100.0%	100.0% (140.0%)	90.0%	84.6%	75.0%	

具体的な施策	１　雇用の創出に大きな役割を果たす企業の誘致を推進する							
主な取組	②　企業誘致の推進							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
企業誘致・立地による雇用者創出数	５人（令和２年度）	目標値	10	15	20	20	20	20
		実績値	6	7	27	10	2	
		達成率	60.0%	46.7%	100.0% (135.0%)	50.0%	10.0%	
企業立地制度適用件数（累計）	３件（令和２年度）	目標値	5	10	11	13	15	17
		実績値	2	9	13	15	16	
		達成率	40.0%	90.0%	100.0% (118.2%)	100.0% (115.4%)	100.0% (106.7%)	

【重要業績指標（ＫＰＩ）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	2　地域経済を活性化させる企業活動を支援する							
主な取組	①　中小企業の経営支援							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
市の支援策により創業した人数	０人 （令和２年度）	目標値	2	3	4	4	4	4
		実績値	0	4	6	6	8	
		達成率	0. 0%	100. 0% (133. 3%)	100. 0% (150. 0%)	100. 0% (150. 0%)	100. 0% (200. 0%)	
中小企業相談件数	1, 500件 （令和２年度）	目標値	1, 600	1, 700	1, 800	3, 550	3, 600	3, 650
		実績値	3, 350	3, 437	2, 588	2, 176	2, 275	
		達成率	100. 0% (209. 4%)	100. 0% (202. 2%)	100. 0% (143. 8%)	61. 3%	63. 1%	

【重要業績指標（ＫＰＩ）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	3　若い世代の市内企業への就職を支援する							
主な取組	①　市内企業への就職支援の充実							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
奨学金返済助成件数	50件 （令和元年度）	目標値	155	165	175	262	270	280
		実績値	131	181	178	249	265	
		達成率	84.5%	100.0% (109.7%)	100.0% (101.7%)	95.0%	98.1%	

基本目標３（合計特殊出生率上昇）

基本目標３	結婚・出産・子育ての希望をかなえることができるまちをつくる
施策の方向性	出会いや交流の場を創出するとともに、妊娠から出産、子育て期にわたる切れ目のないサービスの提供や、魅力ある教育環境の充実を図ります。

【数値目標の進捗状況】

数値目標	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
合計特殊出生率	1.25 （平成30年）	目標値	1.31	1.33	1.36	1.39	1.42	1.44
		実績値	1.16	1.15	1.09	未公表	未公表	
		達成率	88.5%	86.5%	80.1%	－	－	
出生数	1,453人 （令和元年）	目標値	1,499	1,522	1,556	1,590	1,625	1,650
		実績値	1,353	1,308	1,288	1,171	1,135	
		達成率	90.3%	85.9%	82.8%	73.6%	69.8%	

【基本目標３の進捗状況及び評価】

重要業績評価指標（ＫＰＩ）の達成率平均	96.4%	評価	おおむね順調

数値目標「合計特殊出生率」については、令和７年度の実績値は令和９年度に公表予定である。
数値目標「出生数」については、実績値の低下が続き、達成率は69.8%と年々低下している。一方、ＫＰＩの達成率平均は96.4%と高い水準を保っており、両者の開きは拡大する傾向にある。事業ごとの利用状況や若い世代の意識の変化を把握し、出生数の改善に結び付く要因を見極めた上で、施策の重点化を図る必要がある。
ＫＰＩ「保育施設等入所率」については、達成率100.0%を維持しており、保育を必要とする世帯への支援が着実に進んでいるものと思われる。今後も保育需要の変化を的確に捉え、受入体制の維持と幼児教育・保育の質の確保に取り組む必要がある。

【厚木市総合計画審議会からの意見】

数値目標「出生数」については、令和７年度の達成率が69.8%となり、実績値についても低下に歯止めがかからない状況が続いている。出生数の低下を一つの自治体のみで食い止めることには限界があるが、引き続き、国、県及び近隣市町村と連携し、市民を巻き込みながら、粘り強く取組を継続されたい。
ＫＰＩの達成率平均は96.4%と高い水準にある一方で、最終的な成果である出生数との乖離が見られる。指標、事業費及び実績等のデータを分析し、実効性のある取組を充実されたい。
ＫＰＩ「保育施設等入所率」の達成率が100.0%である点は高く評価する。幼児教育・保育の選択肢が充実していることは本市の強みであり、子育ての「楽しさ」や「安心感」が伝わるよう、恵まれた子育て環境を市内外に発信されたい。

【重要業績指標（ＫＰＩ）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	１　結婚への第一歩となる出会いと交流の場を創出する							
主な取組	①　出会いの場や交流の場の創出							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
出会いの場・交流の場事業参加者の満足度	88.7% （令和元年度）	目標値	90.0	90.0	90.0	100.0	100.0	100.0
		実績値	100.0	76.0	86.2	94.3	97.4	
		達成率	100.0% (111.1%)	84.4%	95.8%	94.3%	97.4%	

【重要業績指標（ＫＰＩ）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	2　妊娠から出産、子育て期にわたる支援を充実する							
主な取組	①　妊娠・出産への支援の充実							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
妊娠届出率（妊娠11週以下）	80.9% （令和元年度）	目標値	85.0	85.0	85.5	91.0	92.0	93.5
		実績値	87.6	84.9	84.0	86.5	83.9	
		達成率	100.0% (103.1%)	99.9%	98.2%	95.1%	91.1%	
子育てサービスが充実していると思う市民の割合	66.0% （令和２年度）	目標値	66.2	66.4	66.6	66.8	67.0	67.2
		実績値	68.2	64.0	67.5	69.9	68.6	
		達成率	100.0% (103.0%)	96.4%	100.0% (101.4%)	100.0% (104.6%)	100.0% (102.4%)	

具体的な施策	2　妊娠から出産、子育て期にわたる支援を充実する							
主な取組	②　子育て世帯への支援の充実							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
子育て日常生活支援事業の支給件数	15,500件 （令和２年度）	目標値	18,600	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
		実績値	19,635	18,886	18,405	17,709	16,980	
		達成率	100.0% (105.6%)	100.0% (104.9%)	100.0% (102.3%)	98.4%	94.3%	
子育てリフレッシュ講座参加者の満足度	91.8% （令和２年度）	目標値	92.0	93.0	94.0	100.0	100.0	100.0
		実績値	100.0	100.0	99.2	96.7	98.7	
		達成率	100.0% (108.7%)	100.0% (107.5%)	100.0% (105.5%)	96.7%	98.7%	

具体的な施策	2　妊娠から出産、子育て期にわたる支援を充実する							
主な取組	③　子育て環境の充実							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
保育施設等入所率	99.9% （令和元年度）	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		実績値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
ファミリー・サポート・センター援助活動件数	2,100件 （令和２年度）	目標値	2,400	3,000	4,000	3,700	3,700	3,700
		実績値	3,609	3,270	3,332	3,249	3,250	
		達成率	100.0% (150.4%)	100.0% (109.0%)	83.3%	87.8%	87.8%	

【重要業績指標（ＫＰＩ）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	3　子どもたちの夢をかなえる教育プログラムを推進する							
主な取組	①　魅力ある教育環境の充実							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
全国学力・学習状況調査の全国の平均正答率に対する厚木市の達成率	95.8% （令和元年度）	目標値	96.0	97.0	98.0	99.0	100.0	101.0
		実績値	95.5	97.1	97.1	97.4	96.7	
		達成率	99.5%	100.0% (100.1%)	99.1%	98.4%	96.7%	
全国学力・学習状況調査の思いやりに関する設問に肯定的に回答した児童・生徒の割合	86.3% （令和元年度）	目標値	87.5	88.0	88.5	89.0	89.5	90.0
		実績値	88.6	88.2	90.0	91.0	92.2	
		達成率	100.0% (101.3%)	100.0% (100.2%)	100.0% (101.7%)	100.0% (102.2%)	100.0% (103.0%)	

具体的な施策	3　子どもたちの夢をかなえる教育プログラムを推進する							
主な取組	②　デジタル技術を活用した教育の推進							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
ＧＩＧＡスクール端末を使用した授業の内容が理解しやすいと回答した児童・生徒の割合	83.7% （令和４年度）	目標値	－	－	－	85.0	87.5	90.0
		実績値	－	－	－	85.9	84.3	
		達成率	－	－	－	100.0% (101.1%)	96.3%	
ＧＩＧＡスクール端末が児童・生徒の理解度や進度に応じた学習に効果的だと回答した教員の割合	87.8% （令和４年度）	目標値	－	－	－	90.0	91.5	93.0
		実績値	－	－	－	81.8	89.9	
		達成率	－	－	－	90.9%	98.2%	

基本目標４（転出抑制）

基本目標４	誰もが安心して自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる
施策の方向性	誰もが活躍できる場の創出、安心・安全を確保する基盤の整備、利便性の高い交通環境による魅力的な生活圏の形成を推進します。また、着実に計画を推進するために庁内体制の強化・充実を図ります。

【数値目標の進捗状況】

数値目標	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
転出者数	10,580人（令和元年）	目標値	10,558	10,547	10,536	10,525	10,514	10,500
		実績値	9,582	9,473	9,822	10,108	9,945	
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
20・30歳代の転出者数	6,680人（令和元年）	目標値	6,664	6,656	6,648	6,640	6,632	6,620
		実績値	5,958	5,995	6,248	6,403	6,415	
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

【基本目標４の進捗状況及び評価】

重要業績評価指標（ＫＰＩ）の達成率平均	88.8%	評価	おおむね順調

数値目標「転出者数」及び「20・30歳代の転出者数」については、いずれも達成率100.0%となった。ただし、転出者数全体が減少する中で20・30歳代は増加が続き、全転出者に占める割合も上昇している。魅力的な生活圏の形成に取り組むなど、若い世代の転出抑制を図る必要がある。

ＫＰＩの達成率平均は88.8%と、おおむね順調に進捗しているが、ＫＰＩ「刑法犯認知件数」は実績値の増加が続き、ＫＰＩ「特定健康診査の受診率」も低い水準で推移している。防犯活動の強化や健診を受けやすい環境づくりに取り組み、住み続けたいと思えるまちづくりを進める必要がある。

【厚木市総合計画審議会からの意見】

数値目標「転出者数」及び「20・30歳代の転出者数」について、毎年度、達成率100.0%を維持していることは高く評価できる。市内の大学等教育機関との連携は、若い世代の定着や再転入につながる有効な取組であることから、引き続き強化されたい。また、誰もが自分らしく生き生きと暮らせるまちづくりに向けては、文化芸術活動における発表の場の工夫や、住民の関係づくりによる地域課題の解決にも取り組まれたい。

ＫＰＩ「刑法犯認知件数」について、目標に反して実績値の増加が続いている。安全で安心なまちづくりに当たっては、ごみのない清潔なまちや街路灯が整備された明るいまちなど、生活環境の地道な整備が体感治安の向上につながるほか、風水害や地震、富士山の噴火など多様な災害リスクに対する市民の認識を広げていくことも重要であり、総合的に進められたい。

ＫＰＩ「特定健康診査の受診率」の水準が低い状況が続いていることから、受診率の低い層の分析を行って集中的に対策するなど、受診率向上に向けた取組を検討されたい。

【重要業績指標（ＫＰＩ）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	1　誰もが生き生きと活躍できる場を創出する							
主な取組	①　市民の健康保持増進							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
特定健康診査の受診率	36.3% （令和元年度）	目標値	38.0	39.0	40.0	41.0	42.0	43.0
		実績値	32.7	30.6	32.5	32.5	32.2	
		達成率	86.1%	78.5%	81.3%	79.3%	76.6%	
健康増進のために取り組んでいることがある市民の割合	90.0% （令和２年度）	目標値	91.0	91.5	92.0	92.5	93.0	93.5
		実績値	92.8	91.5	92.9	92.8	90.1	
		達成率	100.0% (102.0%)	100.0%	100.0% (101.0%)	100.0% (100.3%)	96.8%	

具体的な施策	1　誰もが生き生きと活躍できる場を創出する							
主な取組	②　学ぶ場と活躍の場の創出							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
公民館での学級・講座参加者の満足度	70.1% （令和元年度）	目標値	70.6	71.1	71.6	79.6	81.3	83.0
		実績値	74.7	69.7	73.9	68.5	69.7	
		達成率	100.0% (105.8%)	98.0%	100.0% (103.2%)	86.1%	85.7%	
文化芸術事業の参加者数	4,729人 （令和元年度）	目標値	4,950	5,000	5,050	5,100	5,150	5,200
		実績値	0	2,720	2,698	3,031	2,524	
		達成率	0.0%	54.4%	53.4%	59.4%	49.0%	
電子書籍貸出点数	12,000点 （令和５年度）	目標値	－	－	－	13,000	14,000	15,000
		実績値	－	－	－	17,976	27,734	
		達成率	－	－	－	100.0% (138.3%)	100.0% (198.1%)	

【重要業績指標（ＫＰＩ）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	１　誰もが生き生きと活躍できる場を創出する							
主な取組	③　市民協働の更なる推進							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
市内で活動する市民活動団体数	211団体（令和２年度）	目標値	214	217	220	223	207	210
		実績値	214	204	201	193	197	
		達成率	100.0%	94.0%	91.4%	86.5%	95.1%	
市民協働事業の実施事業数	352件（令和元年度）	目標値	358	361	364	347	348	349
		実績値	345	432	493	537	558	
		達成率	96.4%	100.0%（119.7%）	100.0%（135.4%）	100.0%（154.8%）	100.0%（160.3%）	

【重要業績指標（ＫＰＩ）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	2　市民生活における安心・安全の向上を図る							
主な取組	①　防災・減災対策の充実・強化							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
災害に備えていることがある市民の割合	86.3% （令和２年度）	目標値	86.9	87.5	88.2	96.0	98.0	100.0
		実績値	89.9	89.0	86.8	89.9	85.0	
		達成率	100.0% (103.5%)	100.0% (101.7%)	98.4%	93.6%	86.7%	
住宅の耐震化率	89.8% （令和元年度）	目標値	91.1	92.1	93.0	94.9	95.8	96.7
		実績値	92.7	92.9	93.1	93.3	93.4	
		達成率	100.0% (101.8%)	100.0% (100.9%)	100.0% (100.1%)	98.3%	97.4%	

具体的な施策	2　市民生活における安心・安全の向上を図る							
主な取組	②　安心・安全な環境の整備							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
刑法犯認知件数	1,259件 （令和元年度）	目標値	900	810	729	656	590	531
		実績値	1,131	1,102	1,262	1,385	1,498	
		達成率	79.6%	73.5%	57.8%	47.4%	39.4%	
セーフコミュニティに関する研修会等参加者のセーフコミュニティに対する意識高揚度	86.5% （令和元年度）	目標値	92.7	93.6	94.5	95.4	96.4	97.4
		実績値	94.1	92.0	93.6	93.8	94.9	
		達成率	100.0% (101.5%)	98.3%	99.0%	98.3%	98.4%	

【重要業績指標（ＫＰＩ）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	3　魅力的な生活圏を形成する							
主な取組	①　快適な生活環境の創出							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
スーパーマーケット・ドラッグストアの徒歩圏人口カバー率	79.4% （令和元年度）	目標値	79.4	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6
		実績値	79.7	80.4	82.2	82.4	82.5	
		達成率	100.0% (100.4%)	99.8%	100.0% (102.0%)	100.0% (102.2%)	100.0% (102.4%)	

具体的な施策	3　魅力的な生活圏を形成する							
主な取組	②　利便性の高い交通環境の充実							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率	85.1% （平成27年度）	目標値	－	－	－	85.2	85.2	85.2
		実績値	－	－	－	85.6	85.6	
		達成率	－	－	－	100.0% (100.5%)	100.0% (100.5%)	
幹線道路（１・２級市道）等の整備延長（累計）	103m （令和元年度）	目標値	208	353	473	453	503	553
		実績値	134	219	264	319	349	
		達成率	64.4%	62.0%	55.8%	70.4%	69.3%	

具体的な施策	3　魅力的な生活圏を形成する							
主な取組	③　憩いや安らぎの場の創出							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
市民一人当たりの公園及び緑地面積	8.15㎡/人 （令和元年度）	目標値	8.16	8.17	8.17	9.61	9.7	9.65
		実績値	8.19	8.19	8.19	9.40	9.5	
		達成率	100.0% (100.4%)	100.0% (100.2%)	100.0% (100.2%)	97.8%	97.9%	
親しみやすい水辺空間が整っていると思う市民の割合	43.7% （令和２年度）	目標値	44.4	45.1	45.8	46.5	47.2	48.0
		実績値	45.8	44.2	44.2	47.4	48.5	
		達成率	100.0% (103.2%)	98.0%	96.5%	100.0% (101.9%)	100.0% (102.8%)	

【重要業績指標（ＫＰＩ）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	3　魅力的な生活圏を形成する							
主な取組	④　デジタル技術の活用による生活利便性の向上							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
ＬＩＮＥ公式アカウントの利用登録者数	19,300人 （令和４年度）	目標値	－	－	－	40,000	45,000	50,000
		実績値	－	－	－	29,542	38,922	
		達成率	－	－	－	73.9%	86.4%	
オンライン化した行政手続数（累計）	67件 （令和４年度）	目標値	－	－	－	85	90	95
		実績値	－	－	－	126	156	
		達成率	－	－	－	100.0% (148.2%)	100.0% (173.3%)	

【重要業績指標（ＫＰＩ）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	4　自主・自立のまちづくりを推進する							
主な取組	①　積極的な財源の確保							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
第７次行政改革の推進度	― （令和２年度）	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		実績値	87.3	83.6	78.2	85.4	87.8	
		達成率	87.3%	83.6%	78.2%	85.4%	87.8%	
市税収納率	98.81% （令和元年度）	目標値	98.85	98.90	98.95	99.00	99.05	99.10
		実績値	99.11	98.95	98.73	98.80	98.70	
		達成率	100.0% (100.3%)	100.0% (100.1%)	99.8%	99.8%	99.6%	

具体的な施策	4　自主・自立のまちづくりを推進する							
主な取組	②　庁内組織体制の最適化と人材育成							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
職務遂行能力が向上していると感じている職員の割合	85.1% （令和元年度）	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
		実績値	81.7	82.6	84.4	86.5	79.0	
		達成率	90.8%	91.8%	93.8%	96.1%	87.8%	

具体的な施策	4　自主・自立のまちづくりを推進する							
主な取組	③　公共施設の適正配置の推進							
ＫＰＩ	現状値		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８
公共施設個別施設計画に基づく第１期短期再編プログラムの進捗率	― （令和２年度）	目標値	18.2	31.8	45.5	63.6	81.8	100.0
		実績値	18.2	31.8	45.5	63.6	81.8	
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	